

## アジアへ発信、宗像の宝～観光を主体とした宗像産業振興プロジェクト～(福岡県宗像市)

地域産業が衰退する中、北部九州屈指の水揚げを誇る漁業や農業、日本書紀に載る宗像大社を有し世界遺産暫定リスト掲載の宗像大島など個々の地域産業・資源を複合させた漁業・農業体験型ツアーなど新たな観光プランの提供により、観光から農水産業まで幅広い地域産業の活性化を図る。



大島歴史探訪ツアー(中津宮)

インターネット  
販売(海産品)



米粉パンの生産体制



### 平成21年度の主な取組

- ① 世界遺産暫定リスト掲載の宗像大島等を巡る観光ツアーを旅行会社と共同で企画・PR・販売。さらにボランティアガイドの育成など継続運営可能な体制を構築。
- ② 20年度開発産品(米粉パン、ヤーコンチップ等)の販路を拡大するため、関東・関西圏等への情報発信を行うとともに、開発・生産・販売までの一貫した体制を確立。

### 平成22年度以降の展開

玄海地区観光連絡協議会を活用し、周辺市町村との連携による広域観光ツアーや、特産品の販路拡大等により取組の拡大を図る。

## 世界遺産をめざす旧産炭地・田川再生事業

一産・官・民・学が協働する保養滞在型エコツーリズムの実現(福岡県田川市)

過疎化が進む旧産炭地において、産・官・民・学の協働による世界遺産暫定リスト掲載の炭坑関係産業遺産の積極的活用と、地域独自の文化・自然との連携による新たな観光プラン等の提供により、観光客・交流人口の拡大を図り、地域の自力再生を進める。



世界遺産・エコツアー



観光資源「神幸祭」でゴミ回収する学生ボランティア

### 平成21年度の主な取組

- ① 地元観光協会や民間事業者と連携し、産業遺産や地元文化・自然とふれあう保養滞在型エコツーリズムを商品化。あわせて、ポータルサイトを活用した積極的な情報発信・PRを実施。
- ② ボランティアガイドなど地域の学生の自発的社会貢献を促す組織「社会貢献センター(仮称)」を地元大学との連携のもと設立し、持続可能な体制を整備。

### 平成22年度以降の展開

「社会貢献センター(仮称)」に加え、観光や地域交流の中核となる「田川活性化・交流センター(仮称)」を設立し、観光・交流人口のさらなる拡大により、地域の自力的な再生を図る。

## 元気UPふくおか2009～学校まるごと緑化大作戦Ⅱ～

(福岡県福岡市(東区・中央区・南区))

小学校区を地域のまちづくり・ひとづくりの基本的ユニットととらえ、小学校を日常的な住民活動の拠点とする誰でも参加可能な「まるごと緑花」を進め、都市のコミュニティ再生を図る。



学校緑花状況



情報発信サイトの試行

### 平成21年度の主な取組

- ① 地域住民の幅広い参加を促すため、自ら手がけた「まるごと緑花」の状況を随時確認・更新可能な情報発信サイト等を構築し、校区間・個人間の情報共有を図る。
- ② 地元自治会、企業・団体、商店街(花屋等)と連携し、自立的運営可能な体制を構築。あわせて、緑花ガイドラインやサポーターを継続的に育成。

### 平成22年度以降の展開

引き続き「まるごと緑花」参加校や参加者の拡大に取り組むとともに、行政・企業の協力のもと基金を創設する等により活動基盤を確立し、緑花をとおした地域コミュニティの再生を図る。

## 産学官連携による福祉用具ものづくりの販路拡大のためのビジネスモデル

構築実証試験(福岡県大牟田市)

地域に所在する高等教育機関や地元企業の産学官連携のもと、高い高齢化率に直面する地域からのニーズをくみ上げた利用者本位の福祉用具・認知症予防玩具などの開発・製品化を進め、医療と工学の連携を通じた産業活性化・地域雇用の拡大を図る。



力の要らない高齢者向け握力計  
(試作品)



特殊ナースコール  
(試作品)



ネゴシエーター会活動風景

### 平成21年度の主な取組

- ① 4試作品のモニタリング・臨床評価を経て商品化を行うとともに、医療器具カタログへの掲載等情報を発信。
- ② 利用者のカスタムニーズ並びに企業ニーズに対応する受注・開発・製造・保守の一貫体制を産官学により組織した「ネゴシエーター会」を母体に構築。

### 平成22年度以降の展開

開発した製品・受発注システムの本格稼働を行うとともに、大牟田市医工連携・地域雇用創造推進協議会を福祉用具の製作・研究を行う組織へ発展させる。

## 「食」と「器」の地域づくり(佐賀県有田町)

代表産業である窯業・農業が低迷する中、有田焼の旧有田町と農業の旧西有田町の合併効果を活かし、食文化や窯元・商家・棚田の景観と折々の季節行事などの地域資源を複合した取組みを構築し、マーケティングに基づいた製品の販売、もてなしによる交流観光へと活動を広げ、地域経済の維持向上と後継者の確保を図る。



古民家活用町屋  
レストラン「小路庵」



こだわりの器を  
用いた郷土料理  
(おくんち)



地産品直販所「あじさい村」

### 平成21年度の主な取組

- ① 地産品直販所やこだわりの器による郷土料理を提供する町中レストラン等の運営に必要な担い手を育成。
- ② 町全体の回遊性向上のため活用可能な空き家・空き店舗の調査や路地裏マップの作成などを計画的活用・運営プランのもと実施。

### 平成22年度以降の展開

地元窯業大学の作品展示施設など空き家・空き店舗のさらなる活用を図るとともに、地産品直販所「あじさい村」や観光推進組織の法人化など継続運営を支える基盤を整備し、地域経済の維持向上を図る。

## 唐津の海辺の魅力を活かした観光振興事業(佐賀県唐津市)

地元NPOや商工会議所をはじめ地元団体が結集し連携を図ることで、実務・知識・活力を合わせた強力な実施体制を構築し、海辺の魅力を内外にアピールするために観光コースを設け、イベントや講習会を通じた市民へのPRと指導者の育成を図るとともに、それらの浸透による交流・定住人口の増加を目指す。



海辺の  
魅力満  
喫ツアー



マリンスポーツ講習

### 平成21年度の主な取組

- ①今年夏開催のヨット世界大会をPRの契機に、旅行会社とタイアップしたマリンスポーツ体験観光商品を開発。
- ②地元小中学校と連携したマリンスポーツ講習会などをおし、インストラクターやボランティアガイドの育成を図り、継続的な海辺活動を支援する体制を構築。

### 平成22年度以降の展開

観光商品のPRや販売促進を図りつつ、街と海辺のアクセス性の改善など来訪・定住環境の整備にも取組を拡大し、「日本一豊かな海辺都市」の実現を図る。

## 「アメリカ in SASEBO」コミュニティ環境構築による地域活性化（長崎県佐世保市）

来訪者の伸び悩む商店街において、米軍基地と共存する地域特性に着目し、きめ細かい対応が可能な英語サービス案内体制の構築や、商店街自らの英語コミュニケーション能力の向上により、米・邦来街者が共に楽しめる新しい賑わいの街（アメリカを感じられる街）づくりを進め、商店街の個性化による再生を図る。



空き店舗を活用したサービス拠点  
「アメリカ in SASEBO」



実績的英会話講座



英語による商品説明・販売

### 平成21年度の主な取組

- ① サービス拠点「アメリカ in SASEBO」を中心に英語による商品情報の発信や外国人が買物を行う際のデリバリー通訳制度等を導入。
- ② “基地の街”独自のコミュニティ形成に向け、米軍等との連携のもと日・米文化の相互理解を深めるダウンタウンミュージックライブなどのイベントを開催。
- ③ 人材育成などサービス案内拠点等の継続運営に向けた体制を整備。

### 平成22年度以降の展開

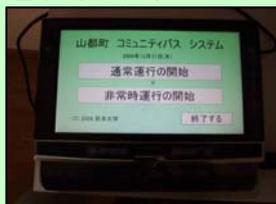
英語表記による商品説明の充実や米国人への接客の向上、空き店舗を利用した日米共同フリーマーケットの開催等の取組を商店街で自立的に進め、在住米国人と市民等が調和して、互いの文化を楽しめる活気ある街づくりを目指す。

## リスクコミュニケーションとコミュニティバス活用による 限界集落の機能再生プロジェクト（熊本県山都町）

山間の過疎地において、山都町住民及び職員と熊本大学の防災まちづくりグループのスタッフが連携し、地域防災教育及び避難情報伝達システムの構築を行い、コミュニティバスを利用した集落間連携での防災体制を確立し、中山間集落を抱える地域における安心・安全な生活の確保を目指す。



コミュニティバスを活用した避難訓練



安否確認システム（確認画面）



啓蒙活動（住民説明）の状況

### 平成21年度の主な取組

- ① 災害時要介護者等の安否確認システムに避難情報発令システムを加え、システムを活用した避難訓練をとおり、安全で確実な避難体制を確立。
- ② 避難体制並びに啓蒙活動を維持する中山間地に根ざした地域防災リーダーを育成。
- ③ 防災拠点の整備や一時避難場所の確保など関係機関と調整。

### 平成22年度以降の展開

大学の授業や公開講座、生涯学習講座に地域防災リーダー育成プログラムを導入し、中山間集落を抱える周辺自治体へのさらなる展開を図る。

## 多様なNPOの連携による新しいスタイルの滞在プログラムの創出事業 (大分県別府市)

短期観光が増加する地域にあって、都市部シニア層を対象とした農村体験など体験型の中長期滞在観光プランやバリアフリー観光プランなど来訪者の裾野を広げる新たな観光プランの提供により観光産業の活性化を図る。



農業  
(田植)  
体験  
ツアー



総合Webサイトの試作



バリアフリー旅行  
プラン

### 平成21年度の主な取組

- ① 滞在プログラムコーディネーターが観光先・体験別など旅行者ニーズにきめ細かく対応する対話型のWeb滞在市場を構築・運用。
- ② 車いすでも安心して旅行できるバリアフリー旅行プランを実証。
- ③ 滞在プログラムコーディネーターの継続育成など、完全自立型の運営に移すアクションプラン「自立移行プログラム」を策定。



### 平成22年度以降の展開

「自立移行プログラム」に従い、体験型観光プランやバリアフリー観光プランの販売、対話型Web滞在市場の事業化など進め、完全自立型の運営を図る。

## 由布院サステナブルツーリズムプロジェクト (大分県由布市由布院地域)

由布院総体の魅力を掘り起こすことにより、地域内の関連産業の活性化を図り、相互連携を深めることにより相乗効果を発揮させ、当地ならではのサステナブルなツーリズムの姿を目指す。



農業生産者と旅館の交流



周辺の美術館・ギャラリー等を循環するパーク&アートバスライド



由布院らしさを演出する景観形成シミュレーション

### 平成21年度の主な取組

- ① 農業生産者と旅館等が直結した地産地消システムの構築、地産地消料理や小学校等と連携した地域情報を掲載する総合情報サイトを構築。
- ② 地域とデザイナーが協働する「由布院デザインシステム」により景観形成の自主ルールを作成し条例等との連動を図る。
- ③ パーク&アートバスライドの事業化など、完全自立型の運営に移すアクションプラン「自立移行プログラム」を策定。



### 平成22年度以降の展開

「自立移行プログラム」に従い、関係団体の連携により、地産地消システムの多面的な運営、景観形成事業の推進など、サステナブルツーリズムの完全自立型の運営を図る。

## 「スローフード運動による食農と工芸と環境融合型の町づくり推進」事業

(宮崎県綾町)

自然環境が豊富に残る地域にあって、先駆的に導入した有機農法による農作物を利用したスローフード体験やファクトリーツーリズム(機織等)など、スローライフを体感できる観光プランの提供により、地域独自の新たな産業・雇用の展開を図る。



ファクトリーツーリズム(機織体験)



エコトレッキング



民泊  
体験



地産  
品料  
理開  
発

### 平成21年度の主な取組

- ① スローフード・ファクトリーツーリズムを旅行会社との連携のもと商品化。
- ② 古民家等民泊施設の拡大や接客マニュアルの整備などツーリズム受入体制を整備。
- ③ 情報発信や案内機能、さらにはガイド育成等の総合窓口を担う「綾スローライフ協会(仮称)」を設立。

### 平成22年度以降の展開

「綾スローライフ協会(仮称)」を中心に町内農業従事者・工芸家、各種団体等との連携を拡大し、スローフード・ファクトリーツーリズムを町全体の取組として定着させ、「綾町をスローライフのメッカ」とする。

## シニアタウン構想 リフレッシュライフin青島 プロジェクト(宮崎県宮崎市)

旧来型観光産業の衰退、地域の高齢化の進展にあって、文化・レクリエーション活動など、高齢者の“生きがいづくり”の企画やコミュニティを確保する共同生活などの実践をとおり、県内外からの高齢者の定住・二地域居住を受け入れ、シニアが主役たるシニアタウンの形成を図る。



シニアの共同生活  
(ニューファミリーホーム)



移住体験  
ツアー  
(ニューファミ  
リーホーム候  
補地案内)



シニア  
の趣味  
づくり  
(家庭菜  
園)

### 平成21年度の主な取組

- ① 生活カウンセリングを行うコミュニティセンターにシニアの経験・知識を企業・地域活動へ仲介・反映する機能を付加し自立化。
- ② シニアの共同生活に必要な土地・建物など物的、介護など人的に支援する組織を不動産企業等と連携し構築。
- ③ 移住・生活・不動産情報等を一元的にWeb発信するとともに、旅行会社との連携のもと移住体験ツアーを商品化。

### 平成22年度以降の展開

宮崎県下一円(高千穂、延岡、日向、西都、綾、都城、日南の各地)に取組を順次拡大し、地域の特長を活かしたシニアタウンの形成を図る。

## 長寿の国 かがしま発「平成版 IT湯治」 ～～健康な私を見つけ、もっと元気な私になる旅～～（鹿児島県指宿市）

地元の食材を生かした低カロリー食、ウォーキング、砂むし入浴等を組み合わせた滞在プログラムを提供するとともに、身体状況計測機器・ICTを活用して滞在者の健康状態を計測し即時的に食事・運動のアドバイスなどを行う「平成版IT湯治」を商品化し健康保養滞在型の観光地づくりを進める。



生体基礎情報の計測



携帯電話を  
 組合せた  
 携帯型  
 心電計



計測データ確認、健康アドバイス



ウォーキングや  
 砂むし入浴

### 平成21年度の主な取組

- ① 「IT湯治」導入ホテル・旅館の拡大・組織化を図るとともに、インストラクターの育成を実施。
- ② 「IT湯治」に関するWeb情報発信などに加え、旅行会社とタイアップして、来訪者に20年度に実証したIT湯治をたいけんしてもらった“お試しキャンペーン”を実施。

### 平成22年度以降の展開

「平成版IT湯治」を指宿地域で先行販売をとおり、健康保養滞在型観光プラン導入地域の県内普及を順次展開。さらに歴史や文化も融合した新しい観光モデルプランへの拡大を図る。

ぬちぐすい うふ くにがみ

## 「命薬の里」親やんばる国頭の資源活用に係る方策検討調査（沖縄県国頭村）

自然資源を活用したエコツーリズムや伝統食材・料理（いわれ食）など主なテーマとして、住民や団体、地場産業などが連携した持続可能な環境保全型産業構造構築による「命薬の里」づくりを目指す。



エコツアー



農業体験（茶摘み）ツアー



“いわれ食”の調理  
 （インジャーバーの味噌あえ）

### 平成21年度の主な取組

- ① エコツアーや森林セラピー、農業・林業・漁業体験など7分野のツアーの運営体制を構築するとともに、ツアーガイド「命薬ガイド」を地元住民を中心に育成・認定。
- ② 「いわれ食※」など特産品の生産・加工・販売体制を整備し、小売業者などとの連携のもと商品化。あわせてパンフレットなど情報発信コンテンツを整え販売を促進。

※「いわれ食」は、地元で昔から食べ続けられている健康食。

### 平成22年度以降の展開

「命薬ガイドツアー」を軸とした環境保全型観光を推進するとともに、ビジネスモデルに基づいた特産品開発・販売を継続的に行い、環境保全型産業構造への転換を進め、「命薬の里」としての地域再生を図る。

## 古民家再生事業を中心としたコミュニティ・ビジネスの構築および情報発信事業 (沖縄県伊是名村)

島の環境や景観、自給を中心とした生活スタイル、コミュニティの文化を守りつつ、訪れた観光客が文化的原点を体感できる島づくりを進め、観光客とともに島を守り伝える交流型の運動を推進するとともに、各取組を有機的に連動させ、開発に頼らない自立型観光振興を目指す。



地元観光ガイドによる島内ツアー



古民家再生宿泊施設



「しまあかり」ライトアップイベント

### 平成21年度の主な取組

- ① 古民家を活用した観光振興の継続展開を支える古民家再生職人や観光ガイドなどの地元育成を実施。
- ② “環境観光”として環境雑誌へ取組事例を掲載するなど全国に向けたPR活動を実施。
- ③ 「しまあかり」で培ったライトアップ事業運営のビジネス化を検討。

### 平成22年度以降の展開

宿泊施設に加え古民家レストランの整備など“環境観光”のさらなる事業展開を行い運営母体となる非営利型の株式会社「島の元気研究所(仮称)」の設立を図る。

## 摂食嚥下障害を含む要介護者対応の観光・福祉連携事業(沖縄県久米島町)

これまで食物アレルギー対応の受入体制構築などの実績がある久米島において、飲食物の飲み込みが困難で通常の旅行の難しい摂食嚥下障害者への食事・医療等のケアのみならず、同行する介護家族も楽しめる観光メニューを提供し、これまで旅行ができなかった人々が安心して訪れられる新たな観光・福祉事業を地域産業として定着させる。



観光・福祉ツアーで提供される摂食嚥下障害対応食



介護ヘルパーの育成

### 平成21年度の主な取組

- ① 沖縄バリアフリーツアーセンターや沖縄観光コンベンションビューロー、旅行会社などと連携し観光・福祉ツアーを商品化。
- ② 観光・福祉ツアーの事前相談やプランアレンジの窓口を務めるコンシェルジュや介護資格を所持する介護ヘルパーの育成を組織的活動として展開。

### 平成22年度以降の展開

旅行弱者対応の「久米島ならではの」旅行商品“群”をさらに拡充し、『観光振興(経済効果)』・『QOL(生活の質)の高い地域社会』・『出産育児年齢層の定住促進』につなげる。